

## 第6章 保健医療従事者の確保および資質の向上

### 第1節 医師・歯科医師

#### 現状と課題

医師数については、福井医科大学卒業生の増加等により、年々増加傾向にあり、平成12年調査では全国平均よりやや多くなっています。

しかし、医療施設別で見ると、病院従事者ではやや増加していますが、初期医療を担い、「かかりつけ医」の機能を期待される診療所従事者は、ほぼ横ばい状態となっています。

この原因としては、開業医となるためには相当の臨床経験を積むことが必要であり、大学卒業後すぐに開業することは困難なこと、また、近年の医師の専門化・勤務医志向等が考えられます。

一方、歯科医師数については、増加傾向にあり、全体に占める開業医の割合も全国平均を上回っています。今後、8020運動を展開するうえで開業医の果たす役割が期待されています。

国においては、医師・歯科医師数について供給過剰の予測のもとに抑制策を検討しているところです。

今後、へき地等医師の確保が困難な地域の解消に努めるとともに、医療の高度化・専門化に対応しうる医師・歯科医師の育成に努める必要があります。

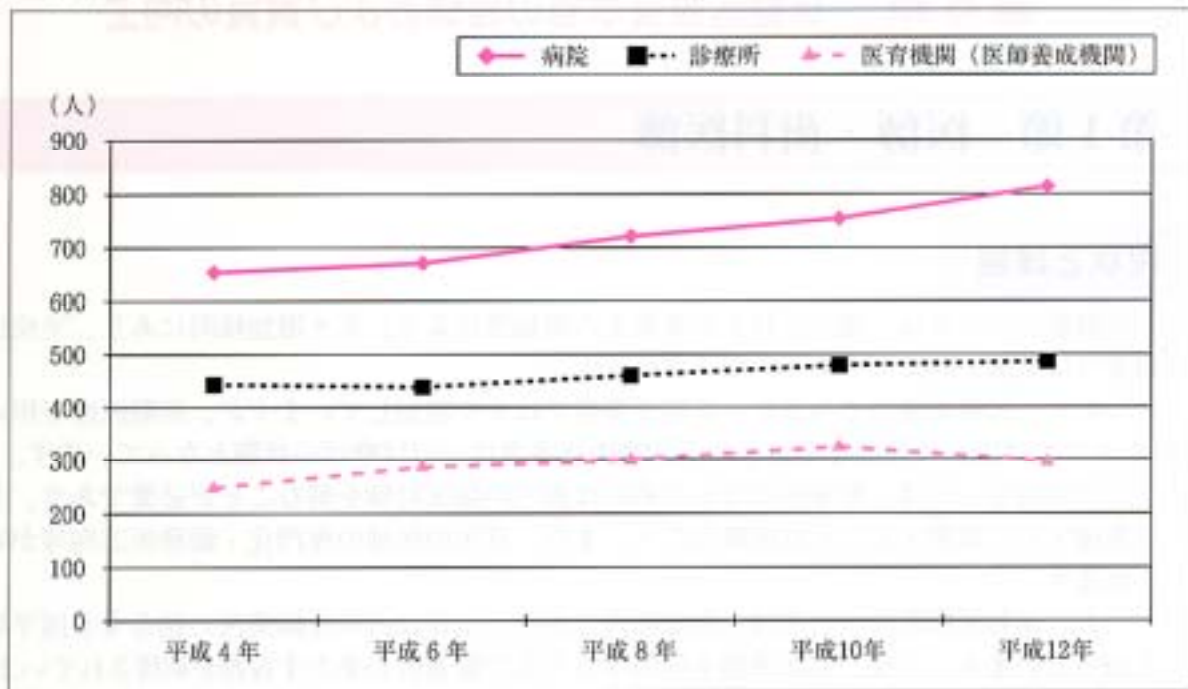
また、医療制度の改革の動向や、平成16年度以降から実施される医師・歯科医師の臨床研修の必修化等も踏まえた養成確保が必要です。

#### 施 策

患者との信頼関係に基づいた医療、および疾病の予防のための措置からリハビリテーションを含む良質かつ適切な医療を担える医師、歯科医師の養成確保に努めます。

- 1 福井医科大学や自治医科大学との連携のもと、医師の県内定着を図るとともに、地域に密着した医療を担う医師の養成確保を図り、地域的偏在の解消に努めます。  
また、義務化される臨床研修に備え、研修施設の確保と研修内容の充実に努めます。
- 2 初期医療の充実強化や在宅医療のニーズに対応するため、県医師会、郡市医師会等が実施する開業医の研修等に積極的に協力していきます。
- 3 歯科医師については、各ライフステージに合わせた適切な指導ができる歯科保健推進のための体制づくりについて、関係機関との協議を進めます。
- 4 高度・専門的な医療を担える医師、歯科医師を育成するため、最新医学の発表・紹介の場となる各種学会や学術講演会等の県内開催に協力します。

医療施設別医師数



歯科医師数に占める開業医の割合

